

みなさん、こんにちは。

高知県でも新型コロナウイルス感染者が増加しています。早くおさまることを願うばかりです。

さて、今日4月6日(月)春うららかな陸上自衛隊高知駐屯地(香南市香我美町)の体育館で、自衛官候補生16名の入隊式が執り行われましたことを報告致します。小官は来賓として入隊式に出席し元気いっぱいの16名の姿を見てきました。入隊式は前日までの新型コロナウイルス感染の状況を受けて、ご父兄や自衛隊協力諸団体の方々、高知駐屯地に所在する隊員の参列もなく、駐屯地司令高原1佐以下全員がマスクを着用して(もちろん小官も)やや寂しいものでした。しかし16名の候補生の入隊の宣誓は澁刺(はつらつ)とした声で、色々な動作はきびきびとし、今日の青空と同じく晴れ晴れとしてさわやかなものでした。

彼らは3月29日に着隊して以来、制服や戦闘服のアイロンがけや階級章の縫い付けなど今までご両親がやってくれたことを自分たちで行ってきました。初日の夜は寝床に入る時にパジャマに着替ええないことに驚いた者もいたと思います。入隊式の準備を通じ「敬礼」動作などを繰り返し訓練しました。ご父兄に参加を頂ける状況であったならば、わずか1週間ばかりですが彼らの変化を感じられたことでしょう。

高原駐屯地司令は式辞の中で、これから本格的な訓練に臨む16名に対して「自衛官としての基本・基礎を身につけよ」と「同期としての絆を深めよ」を要望して激励をしました。また河野太郎防衛大臣からのビデオメッセージによる激励もありました。

高知地方協力本部は春の異動を終えて新たな陣容が整いました。令和2年度の自衛官の募集と定年退職者の就職援護の準備も進んでいます。自衛官になりたい、元自衛官を雇用したいなどご興味のある方は是非、高知地本にご連絡ください。

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。

春に陸上自衛隊に入隊した新隊員たちが、共通の新人研修ともいえる新隊員前期教育を終えて、6月23日松山駐屯地、25日高知駐屯地、29日滋賀県は大津駐屯地を巣立ちました。小官も修了式に参加しました。3か月前は不安そうな顔で「もう帰りたい」と言っていた子たちが、自衛官として同じ顔つきになって同期の仲間と笑顔で修了を喜び合う姿を見ると、高知でのこれまでの人生に加えて、新たな出会いと人との関係を作れたんだなあ、彼らの人生に少し役立つことができたなあと感じました。

彼らは、例年であれば5月の連休で帰省できるどころ、新型コロナウイルス禍のため駐屯地内で休養しただけで訓練を続けました。よく頑張ったなあと思います。でも例年を知らない彼らに「苦しかったのは？」と訊くと「25kmの行進訓練」と笑いながら言います。外出ができなかった環境でしたが、仲間とともに息抜きをする術(すべ)を見つけたのでしょ。

彼らの多くは四国を担当する第14旅団管内、あるいは中国・関西地区に配置になりました。その他には遠くは本人の希望で北海道に赴任する者もいます。彼らはそれぞれの地で9月下旬まで、職務に応じた専門教育(大砲を扱う、あるいは通信装置を扱う、会計業務などのいろいろな職務)の「新隊員後期教育」に進みます。彼らの益々の活躍を祈りたいと思います。

海上自衛隊及び航空自衛隊の新隊員教育は8月まで続きます。

本格的な暑さがやってきました。皆様お変わりありませんか。

さて、7月18日に今年度初めての予備自衛官の一日訓練を実施することができました。予備自衛官とは、普段は民間人で、何かあった場合に招集命令を受けて自衛官となる人たちのことです。訓練は新型コロナウイルスの影響で延び延びになっていました。

【予備自衛官の必要性】

我が国の防衛は基本的に領域内で行われるため、平素は戦闘部隊等を中心に必要最小限の部隊を常備自衛官で保持し、有事は防衛作戦に必要となる輸送部隊や衛生部隊などの後方支援部隊や駐屯地等の警備部隊、司令部の増強要員などを、防衛招集命令を受けた予備自衛官で充足して防衛力を拡大します。最近は災害派遣でも衛生技能等を持つ予備自衛官が招集されるようになってきました。

【予備自衛官の訓練】

予備自衛官の訓練は年間5日が基本となっています。訓練は予備自衛官の生業に影響がないように土日・祝日を中心に設定されます。また3日と2日というように分割して訓練を受けることができます。今回実施した一日訓練は、自衛隊を退職してそのまま予備自衛官となった人を対象とし、直近まで自衛官であったことから予備自衛官として維持しなければならない識能は保持しているため、1日間の訓練でOKなのです。さらに、平成13年度から自衛隊の勤務経験がなくても所定の訓練を受けて予備自衛官になる「予備自衛官補」という制度もでき、学生を含めて一般の皆さんも志願していただき、予備自衛官として引き続き訓練に参加しています。（「公募予備自衛官」と呼んでいます）

【ご理解あって初めて機能する制度】

高知県には予備自衛官が約200名います。訓練への参加や任務に応招できるのは、家族や勤めている企業、職場の理解が必要です。県民の皆さまのご理解とご協力があって成り立っている予備自衛官なのです。改めて予備自衛官制度へのご理解に感謝申し上げます。

暑さはまだまだ続きます。皆さまご自愛ください。（令和2年度自衛官募集中です！）

まだまだ暑い日が続いていますが、皆様お変わりありませんか。

先日某新聞の夕刊に「2020版防衛白書」についての記事（見出しは“防衛省「白書」感想文募集国民理解のため？自衛隊のファンづくり？”）が掲載されていましたので一筆。

防衛白書は今回の発刊で創刊から50年の節目を迎えました。中曽根防衛庁長官（当時）の「国の防衛には、何より国民の理解と積極的な支持、協力が不可欠」という信念のもと、防衛白書は昭和45年（1970年）に初刊行されました。初版はA5判の総ページ数94、令和2版はA4判の597ページとなっています。巻頭にダイジェストも著し防衛に初めて触れる方にも理解しやすく、また充実した資料の掲載によって研究者や、専門家にとっても有益なものになっています。

今回の防衛白書は、「我が国を取り巻く安全保障環境」「我が国の安全保障・防衛政策」「我が国防衛の3つの柱」「防衛力を構成する中心的な要素など」の4部構成となっています。3つの柱とは「我が国自身の防衛体制（努力）」「日米同盟（による努力）」「（多国間や二国間の対話や交流による）安全保障協力（による努力）」を示しています。また、その特徴は第I部「我が国を取り巻く安全保障環境」に力点が置かれていることで、全ページの4分の1を割いています。特に中国について34ページにわたり軍事全般から国防費の伸び、核ミサイル戦力の増強、東・南シナ海における海空域での活発な活動などを説明しています。

最近年の防衛白書は解説や資料集が充実し、今回は巻末資料が防衛省ホームページ上で編集可能なデータとして掲載され、また本文内にQRコードを配置し50本以上の説明の関連動画をスマートフォン等で見るできるようになっています。

件の新聞記事は昨年の「白書」感想文募集への応募が10代から20代までであったことから（応募資格に年齢制限はありません）、一般的な読書感想文で行う読み方で防衛白書の感想を書くのは困難としているが、選挙権年齢が満18歳以上となった今、若者が防衛問題について賛否の意見を持つのは決して早くないと思います。防衛白書は防衛省のホームページで見ることができますからどうぞご覧ください。

（2020版防衛白書URL：<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html>）

本年度の自衛官募集、曹（下士官）になることを前提とした一般曹候補生の入隊試験の受付が9月10日と迫ってまいりました。2年あるいは3年任期の自衛官候補生も募集中です。関心があって説明が欲しい方は近くの募集案内所あるいは地域事務所にご連絡ください。お待ちしております。

禰原町松原地区、国道439号から県道322号に入った久保谷川沿いに、海上自衛隊の対潜哨戒飛行艇の墜落の慰霊碑があります。9月17日、機体が所属していた岩国第31航空群司令ほか海上自衛官、禰原町長をはじめ地元の皆さんや自衛隊協力団体の皆さんが集まり、搭乗員の御霊13柱の慰霊祭が雨の中行われました。

昭和53年(1978年)5月17日、事故機の対潜哨戒飛行艇PS-1「5812号機」は岩国沖で夜間の離着水訓練を行っていました。午後9時頃、国籍不明潜水艦の捜索の命令を受け訓練を中止し土佐沖に向かいます。その途中、雲低く垂れ込めた禰原町一の谷山山頂に激突したのです。地元松原地区の人々は、飛行機の爆音が止むと同時に起こった大音響と火柱により墜落を知り、驟(しゅう)雨煙る深夜に俊険な山中を捜索。散乱する機体の下に眠る隊員のご遺体を収容して頂きました。

慰霊祭で改めて感じたことは、事故の起きた昭和53年、小生は当時小学5年生です。安寧と育ったあの時期に、私たち自衛官の先輩達が我が国の領域の外と内の境で黙々と任務に就き、ズーッと私たちの生活を守ってくれていたことへの驚嘆と感謝の念です。13柱の御霊はその任務途上で亡くなられたのです。

先日10月10日には陸上自衛隊善通寺駐屯地で、四国地区の陸上自衛官殉職隊員追悼行事が行われました。高知県出身の殉職隊員の御霊は陸上自衛隊13柱、海上自衛隊6柱、航空自衛隊7柱の合計26柱です。御霊の安らかならんことを心からお祈り申し上げ、またご遺族の皆さまのご平安とご健勝を切に祈念致します。

(幸いなことに、高知県出身隊員の殉職は平成11年が最後となっています)

11月2日 高知県護国神社の秋季大祭が行われました。

海行かば 水漬(みづ)く屍
山行かば 草生(くさむ)す屍
大君(おおきみ)の 辺(へ)にこそ死なめ
かへ(え)り見はせじ

万葉集卷十八4049番 詠み人 大伴家持

第二の国歌と言われた「海ゆかば」のメロディーが流れる中、知事をはじめ出席された多数の方が、幕末以来日清・日露、大東亜戦争にあたって国家公共のために殉じた高知県にゆかりのある戦没者4万1千7百余柱と、高知県出身の自衛隊殉職者10柱へ、哀悼の誠を捧げました。

ホームページご覧の皆様

謹んで新春の祝詞を申し上げます。清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は自衛隊の活動へのご理解と高知地方協力本部の自衛官募集、退職自衛官の再就職などへのご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も部員一丸となって、皆様の自衛隊へのご理解と自衛官の募集・再就職支援に努めてまいりますので、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念し、皆様とともに COVID-19 の収束もお祈りしたいと思います。

沈丁花の香りも漂い、黄色い菜の花を見ると春はそこまで来ている！と感じるこの頃ですが、皆様お変わりありませんか。

2月28日実施された中土佐町合併15周年・新庁舎等落成式典に合わせて、当日の午前中、新庁舎近傍にある久礼小学校グラウンドで、陸上自衛隊のヘリコプター離着陸訓練を行いました。

この訓練は、南海トラフ地震による津波災害において孤立が予想される地域の避難所に生活物資等を送り込むことを想定したものです。訓練では、ヘリコプターの離着陸だけでなく、被災時に避難所の運営に携わる可能性のある町の方々に参加して頂き、ヘリコプター着陸点の設定、着陸の誘導、荷下ろし時の安全確保などを現地に行いました。現在の陸上自衛隊のヘリコプター部隊では、東日本大震災の時に保有していた4人乗り小型ヘリコプターが全機退役して、事前に空から誘導の隊員を送り込むことができなくなっています。このため、町の皆さんに着陸点の設定と安全確保を行っていただく必要が出てきたのです。

参加されたみなさんは、徳島から来た第14旅団飛行隊の自衛官から、まず体育館で説明を受け、次にグラウンドに出て安全確保の着眼を実物で確認。例えば、ヘリコプターの離着陸に必要な地積、周辺の電柱や木立を考慮した着陸点・接地点の表示、飛散物の片づけ、風向の確認などです。

そして、ヘリコプターが着陸。ホバリングするヘリコプターの吹きおろしの突風にびっくりしながら、ご年配のお父さん・お母さん、小学校の先生たち、池田町長も、町議の方も、役場の方も、参加した町の皆さん全員が必死に誘導を訓練しました。参加された皆さんから「この経験を万一の時に活かしたい」という感想を頂き、少しは高知県の皆様の防災意識、万一のための準備に寄与できたと思います。

まもなく東日本大震災3月11日から10年の日を迎えます。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。

こじゃんと言う介 vol.9(令和3年4月11日)

令和2年度の採用・再就職支援事業が終わりました！

4月11日(日)に高知駐屯地で元気いっぱい男子21名の入隊式があり、無事に令和2年度の採用事業を終えることができました。高知県からは自衛官に101名、防衛大・防衛医科大に4名が入隊・入校し、高知地本の目標採用数の100%以上を達成することができました。また、高知地本が担当していました自衛官退職者の再就職支援も1名を除き、本人希望の企業に再就職ができました。これも、高知県の皆さまの日頃からのご理解・ご協力によるもので、この場を借りて心から感謝を申し上げます。

昨年度に引き続き滋賀県大津駐屯地・教育隊での自衛官候補生(女性)の入隊式に出席してきました。昨年は入隊女子に1週間の生活を聞くと、比叡山下ろしの風に「朝がひやい〜！早う高知に帰りたい」と口々に言っていたのですが、今年の子6名(みんな18歳)は「高知のご飯が食べたい」という答えです。一方、男子は着隊直後から「集団生活無理」と辞退の申し出も少なからず……。女性どうしは直ぐに仲良くなるのでしょうか、ホームシックもなんのその、生活環境が変わっても逞しいものです。

いよいよ3か月の教育が始まります。頑張れ、高知の新隊員たち！

自衛隊幹部候補生の採用試験(初回5月8、9日)の受付締切りが迫っています。4月28日です。ご応募お待ちしております！

大学を卒業して、自分の可能性に挑戦したい人、集まれ〜！

梅雨空が続いていますが、皆さまお変わりないでしょうか。

- 令和3年度も1四半期の最終月となり、高知地方協力本部が3月下旬から準備を進めてきました本年度事業の皮切りとして、6月4・5日宿毛新港で艦艇広報を行いました。皆さまから自衛隊へのご理解を頂くことを目的に実施した広報には、海上自衛隊輸送艦「おおすみ」や陸上自衛隊の装備が参加し、2つ日間で約2000名の方に来場して頂きました。

本事業では地元宿毛の皆さま、特に宿毛市役所企画課の皆さま、宿毛商工会議所の皆さま、自衛隊隊友会及び自衛隊家族会の皆さまにもご協力を頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

- この3月に高知県から陸上自衛隊に入隊した男女50名が、今月下旬に前期新隊員教育を終えます。それぞれの修了式には小官も出席します。皆さまには高知県出身自衛官の成長ぶりを報告しようと思います。これまでの彼らの日々様子は高知駐屯地と松山駐屯地のTwitterで見ることができます。なお、海・空自衛官の新隊員教育は7月下旬～8月上旬まで続きます。

- 本年度の自衛官募集は既に始まっています。すでに一般曹候補生と幹部候補生の1回目の試験をそれぞれ終了しました。採用試験は12月下旬を目途に継続します。自衛官を職業として選択してみようとお考えの方は是非受験してください。

中でもお勧めしたいのは海・空自衛隊「航空学生」です。この採用種目は戦闘機、輸送機、対潜哨戒機などの各種飛行機あるいは各種ヘリコプターのパイロットを養成する要員を採用するものです。新型コロナウイルス禍により民間航空業界が打撃を受けている中、パイロットの夢を持って入社した訓練生も他の部署に回らざるを得ないようです。もし、パイロットになりたいという夢をお持ちの方がおられましたら、ご一報頂けるとご説明に伺います。

体調を崩しやすい季節です。皆さま、ご自愛ください。

暑くなってまいりました。皆様お元気でしょうか？

- 陸上自衛隊 新隊員男子は松山駐屯地、高知駐屯地、女子は滋賀県大津駐屯地で4月から新隊員教育を受けていました。この6月下旬にそれぞれ教育を修了しました。

小官は3つの修了式に出席し、新隊員たちの日焼けし逞しく元気な様子を確認してきました。入隊式の時には不安そうだった者も明るくなって別人です。3ヶ月の訓練の感想を尋ねたところ、ほとんど「楽しかった」と答えます(ホント!?)「でも、きつかったやろう?」と質問すると「徒歩行進訓練がきつかった」「戦闘訓練! 匍匐が苦手や」と様々です。「自衛隊選んでよかった?」と訊ねると、みんな「良かった!」と言います。

彼らは7月1日には専門の職種を指定され、主として四国、一部中国、関西地方の各地の部隊に配属になります。遠くは北海道、オホーツク海サロマ湖近くの遠軽駐屯地や千歳空港近くの南恵庭駐屯地の部隊に行く者もいます。若い時に知らない土地を見ておきたいようです。みんな希望の職種と任地が叶えられたということでした。彼らは9月下旬ごろまで専門の職種教育を受けることになります。

- 先日7月2・3・4日に護衛艦「とね」と陸上自衛隊装備をもって高知新港で広報イベントを行いました。連日の雨を覚悟していましたが、皆様の祈りが天に通じたのか3日とも雨もなく、2千名を越えるお客様にお越しいただきました。本当にありがとうございました。
- 来春卒業見込みの高校生をメインとした航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生、防衛大学校、防衛医科大学校(医学科/看護科)の志願受付を開始しました。多くの皆様の志願をお待ち申し上げております。

暑さはこれからが本番です。皆様ご自愛ください。

先日8月15日、護国神社での慰霊鎮魂祭に参加してまいりました。

76回目の終戦の日となります。

鎮魂祭の中で宮司により、昭和大帝の終戦の詔勅が奉読されました。

朕深ク世界ノ大勢ト帝國ノ現状トニ鑑ミ 非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ 茲ニ忠良ナル爾臣民ニ告ク

朕ハ帝國政府ヲシテ 米英支蘇四國ニ對シ 其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ

抑々 帝國臣民ノ康寧ヲ圖リ 萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ 皇祖皇宗ノ遺範ニシテ 朕ノ拳々措カサル所 曩ニ米英二國ニ宣戰セル所以モ亦 實ニ帝國ノ自存ト東亞ノ安定トヲ庶幾スルニ出テ 他國ノ主權ヲ排シ領土ヲ侵スカ如キハ 固ヨリ朕カ志ニアラス 然ルニ交戰已ニ四歲ヲ閱シ 朕カ陸海將兵ノ勇戰 朕カ百僚有司ノ勵精 朕カ一億衆庶ノ奉公 各々最善ヲ盡セルニ拘ラス 戰局必スシモ好轉セス 世界ノ大勢亦我ニ利アラス加之 敵ハ新ニ殘虐ナル爆彈ヲ使用シテ 頻ニ無辜ヲ殺傷シ 慘害ノ及フ所眞ニ測ルヘカラサルニ至ル 而モ尙交戰ヲ繼續セムカ 終ニ我カ民族ノ滅亡ヲ招來スルノミナラス 延テ人類ノ文明ヲモ破却スヘシスノ如クムハ 朕何ヲ以テカ億兆ノ赤子ヲ保シ 皇祖皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ 是レ朕カ帝國政府ヲシテ共同宣言ニ應セシムルニ至レル所以ナリ

朕ハ帝國ト共ニ 終始東亞ノ解放ニ協力セル諸盟邦ニ對シ 遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得ス 帝國臣民ニシテ戰陣ニ死シ 職域ニ殉シ 非命ニ斃レタル者及其ノ遺族ニ想ヲ致セハ 五内爲ニ裂ク 且戰傷ヲ負ヒ 災禍ヲ蒙リ 家業ヲ失ヒタル者ノ厚生ニ至リテハ 朕ノ深ク軫念スル所ナリ 惟フニ今後帝國ノ受クヘキ苦難ハ固ヨリ 尋常ニアラス爾臣民ノ衷情モ朕善ク之ヲ知ル 然レトモ朕ハ時運ノ趨ク所 堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ヒ難キヲ忍ヒ以テ 萬世ノ爲ニ太平ヲ開カムト欲ス

朕ハ茲ニ國體ヲ護持シ得テ 忠良ナル爾臣民ノ赤誠ニ信倚シ 常ニ爾臣民ト共ニ在リ 若シ夫レ情ノ激スル所 濫ニ事端ヲ滋クシ 或ハ同胞排擠互ニ時局ヲ亂リ爲ニ大道ヲ誤リ 信義ヲ世界ニ失フカ如キハ 朕最モ之ヲ戒ム 宜シク舉國一家子孫相傳ヘ 確ク神州ノ不滅ヲ信シ 任重クシテ道遠キヲ念ヒ 總力ヲ將來ノ建設ニ傾ケ 道義ヲ篤クシ 志操ヲ鞏クシ 誓テ國體ノ精華ヲ發揚シ 世界ノ進運ニ後レサラムコトヲ期スヘシ 爾臣民其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

現代語訳はネット上に様々なものがありますからご確認ください。

昭和大帝は私達に「挙国一家」とおっしゃられました。恐れ多いことですが、明治大帝が西洋物質文明に影響される国民の心をご心配になられ、お示しになった教育勅語の精神、すなわち国全体が家族のような共同体であるべきことを、昭和大帝も改めてお示しになられ、国の復興に檄を飛ばされたと拝察します。

護国神社に祀られた郷土の英雄は、共同体である国を守るため（家族を守るためと同じと考えます）、様々な思いを捨てて出征され戦い亡くなりました。私たちの今があるのも、これからがあるのも、戦没した英雄たちのお蔭です。

戦後は戦前に比べて（物質的に）とても豊かになりました。しかし、物欲に惑わされ、英雄たちが守ろうとしたものを守れていないのではないかと、昭和大帝がお示しになった意を体せていないのではないかと。改めて自らを省みた終戦の数日でした。

追伸 破線下線部の字句に関して『安岡正篤と終戦の詔勅』を参考にされてみて下さい。

新年明けましておめでとうございます

旧年中は、高知県の皆様に変にお世話になりました。心から感謝を申し上げます。

国内の COVID-19 の感染や景気動向、我が国周辺を見ればこれまでにない厳しい軍事情勢。年号が令和に替わって、令和の由来が万葉集に出てくる梅花の歌であり、春を呼ぶ梅の香りのような時代を期待したのですが……。とにかく乗り切っていくしかないですね。頑張りましょう！

高知地方協力本部の令和3年度の事業は、自衛官募集については陸・自衛官候補生を引き続き募集中です。皆さまへの広報イベントは例年2月頃に艦艇見学などを行っていましたが今年はありません。しかし、ちょっと寂しいのでJR高知駅北口の広場で簡単なイベントを考えています。(日時はホームページやツイッターでお知らせ)

本年もどうか、よろしく願い申し上げます。

寒さは、まだまだ深まります。ご自愛ください。

令和四年 元旦

令和3年度最終月も中旬になりました。いかがお過ごしでしょうか？
日差しも春めいてきましたが、COVID-19はまだ続いています。

本年度の募集は、入隊・入校約80名となりそうです。例年、入隊意思が維持されるよう、入隊後の生活環境などを知るため基地や駐屯地の見学を行うのですが、COVID-19によってキャンセルとなっています。

昨年度は実施できた、入隊・入校者激励会（高知県防衛協力会などの協力団体の主催、高知県共催）も、残念ながら今年度は中止が決定しています。そこで、まもなく入隊・入校する皆様とご家族の皆様に、昨年 of 激励会で小生が自衛官の代表の一人として述べた激励をお伝えしたいと思います。（例年、本部長は参列のみです）

高知県自衛隊入隊・入校激励会が挙行されるにあたり、入隊・入校される皆さんに心からお祝いを申し上げます。

今日、若々しい皆さんの姿に接し、高知県の自衛官を代表として、また高知県出身の自衛官として誠に心強く感じるとともに、自衛官への道、防衛の務めへの道を選んでもらえたことに心から感謝致します。

「南国土佐を後にして、中支に来てから幾歳（いくとせ）ぞ ♪」

若い皆さんは聞いたことがないかもしれません。女性歌手ペギー葉山さんが歌いヒットした昭和の歌です。昭和14年1939年、現在の朝倉高知大学にあった高知駐屯地で陸軍歩兵第236連隊が編成されました。鯨部隊ともいわれた連隊の主力は高知県出身者です。昭和14年から終戦の翌年までの約6年間、中支、中国大陸の揚子江流域に派遣され活躍をしました。この歌の歌詞とメロディーは236連隊の兵士に歌われていたものが元になっています。多くの兵士が長い過酷な戦いに倒れましたが、郷土の先輩たちは、父・母、姉・妹・弟、そして妻や子供たち、この人たちが平和に生活し成長することを願って戦い、遥か中国大陸から故郷を思い出してこの歌を歌ったのです。

戦後、自衛隊の前身である警察予備隊、海上警備隊、保安隊にも高知県から多くの先輩が入隊しています。ある先輩は、香川県善通寺で入隊し教育を受けた後、北海道・小樽の南にある倶知安に配属され、初めての雪の中での訓練、初めてのスキー、寒さ、年末年始の休暇は夜行列車で3、4日かかり、高知で一泊したら直ぐ北海道に帰ったそうです。

今、この時にも高知県出身の自衛官は、遠く高知を離れアフリカの基地で、あるいは

南シナ海、東シナ海の潜水艦、護衛艦の上で、あるいは地下のオペレーションルームの中で、海、空、サイバー空間、電磁波空間での、他の国からの脅威に対して不断の警戒と監視を行い、また世界の平和と安定に寄与する任務に従事しています。

みなさんは高知県の代表として、我が国の平和と独立を守る、防衛の務めに加わるようになります。皆さんの多くは、初めて高知を離れ、経験したことのない自衛隊の生活に入ります。厳しいと思います。5月の連休が待ち遠しいと思います。防衛の務めは自分の成長の実感や仲間との絆、国民からの感謝の言葉など良いこともあります。しかし全く楽なものではありません。辛い時、苦しい時は、高知の明るい青空を思い出しましょう。夏の暑さ、よさこい祭りの熱気を思い出して、明るく元気に頑張っていきましょう。

ご家族の皆様、大切に育てられたお子様を送り出そうと考えられたことに、心から感謝申し上げます。ご子息、ご令嬢は来月には、これまでと全く違った生活の中で防衛の務めに向って進みはじめます。これからも寄り添い、支えとなっていただくことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日このような激励会を主催していただいた山元会長をはじめ高知県防衛協会、高知県自衛隊家族会、高知県隊友会、高知県自衛隊退職者雇用協議会の皆様、また平素から自衛官募集にご協力を頂いている浜田知事をはじめ県庁、市町村の皆様に対しまして、高知県で働く自衛官を代表し心より感謝申し上げます。入隊・入校のみなさんの健闘と活躍を祈念して、激励の言葉と致します。

こんにちは、いかがお過ごしでしょうか？

国際情勢と我が国周辺情勢は予断を許さない厳しい状況です。

令和3年度の募集の採用者の入隊が4月11日をもって完了しました。皆様へのご報告が遅れ申し訳ありません。お陰様で、高知県から約80名が入隊・入校となりました。ご協力ありがとうございました。令和3年度は、喜ばしいことに陸上自衛隊高等工科大学へ入校していただくことができました。本当に久しぶりです。

高等工科大学は、将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信をもって対応できる自衛官となる者を養成し教育する学校です（15歳以上17歳未満の方を募集）。高校3年間プラスの期間で高校のカリキュラムと陸上自衛隊で必要とする教育を行っています。神奈川県武山駐屯地にあつて、全寮制、学費は不要で学生手当が支給されます。

本年度の募集は既に始まっており、大学卒業生を対象とする一般幹部候補生は5月連休前に第1回の試験があり、募集締め切りは目前です。ご関心のある方はご連絡下さい。

また、5月1日（11：00～、14：00～）、秦南のイオン高知で、海上自衛隊呉音楽隊によるミニコンサートを予定しています。皆さまのご来場をお待ちしています。